**説明文**

ユニバーサル都市・福岡賞２０１９受賞者のご紹介リーフレットについてご説明いたします。

ユニバーサル都市・福岡推進協議会定村委員長の講評です

今年度のユニバーサル都市福岡賞最優秀賞は大日本印刷株式会社の「May ii（メイアイ）」は，福岡でも実験的に運営されており、実際に助かったという声を耳にしました。このアプリがきっかけとなり、困っている人に気軽に声をかけあえる街が実現することを心から期待します。優秀賞の株式会社ACLAの「折りたたみ電動カート」は，ボタン一つで簡単に折りたたみができる機構に大きな展開性を感じました。障がい者や高齢者がこのカートを利用して世界中を旅することができる社会基盤の整備が期待されます。アイデア賞は加来美月さんが考えてくれた「メロディー機能付き白杖」は，夢が溢れる先進的なスマート白杖は、すぐにでも実現してほしい素敵なアイデアでした。市民特別賞の赤坂小学校5年生の生徒たちの数多くの提案は迫力満点で、赤坂への愛情がたっぷり詰まったものでした。最後に「障がいのある高齢者の人生100年時代乗り切り策」を提案していただいた斉藤拓郎さんのエネルギーに大きな拍手を送りたいと思います。来年度も優しさがいっぱい詰まった素晴らしい活動やアイデアをお待ちしています。以上。

受賞者の紹介です。

最優秀賞，大日本印刷株式会社，スマホがつなぐ助け合いアプリ「May ii（メイアイ）」。

作品概要，観光客，ベビーカー使用者，高齢者，障がい者など，街中で困っている方にとって便利な「手助けがほしい」と「手助けできます」をつなぐ助けあいアプリ。一人でできるミッションで貢献したり，街中の困りごとや人々の貢献行動を可視化できるのも特徴です。

受賞者コメント。これからも様々な人たちの困りごとに気づいて「ＭayIhelpyou?（メイアイヘルプユー）」と声をかけ，支え合える街にしていきたいです。福岡の市民，企業，一緒になってこのアプリを活用いただけたらと思います。以上。優秀賞，株式会社ＡＣＬＡ，ユニバーサルツーリズムの裾野を広げる折りたたみ電動カートモニター提供事業。作品概要，歩行に不安のある人でも気軽に旅行を楽しめる社会の実現を目標に，折りたたみ電動カート付きツアー造成の働きかけを旅行代理店へ実施。観光地でのモニター利用や利用者アンケートから旅行・レジャーにおける折りたたみ電動カートの有用性を実証，普及促進をしています。受賞者コメント。折りたたみ電動カートの普及が，歩行に不安を持つ方の社会参画を支えるという意義と，責任の重さを改めて感じました。今後も，旅行やお出かけの支援で，ご家族の笑顔を広げたいと思います。ありがとうございました。以上。アイデア賞，加来美月，メロディー機能付き白杖。作品概要，白杖に取り付けたセンサーが点字ブロックを感知すると振動で伝えると同時に，点字ブロックを歩いている間，自分の好きな音楽が流れる仕組みです。視覚障がいの人のまち歩きがより楽しくなればとの思いからこのアイデアを思い付きました。受賞者コメント。まさか受賞に本当に嬉しく思います。

このアイデアは，学校での白杖体験やユニバーサルデザインの学習が大きなヒントになりました。私の大好きなこの街がみんなにやさしく住みやすい街になるようこれからも思いやりの気持ちを大切にしていきたいです。以上。

市民特別賞，福岡市立赤坂小学校，めざせユニバーサルな町赤坂。作品概要，さらにユニバーサルな町になるために，自分たちの住む赤坂校区をユニバーサルデザインの視点から見直し，5年生なりに考察した未来プロジェクト。フィールドワークやインタビューもしながら，各々できたらいいなマイプロジェクトプランを発案しました。受賞者コメント。たくさんの方が評価してくださった証である賞に，子どもたちは頑張って良かったとこれからの意欲が高まったと思います。みんながやさしい，みんなにやさしい街を目指し，自分たちにできそうなことを増やしていきたいです。以上。

なお，リーフレットには各賞ごとに受賞作品および受賞者の写真を掲載しています。以上。

この他にユニバーサル都市・福岡推進協議会委員の名簿を記載しております。名簿順に敬称略で，委員長定村利光，副委員長平井康之，委員石橋隆，委員猪野猛，委員藏田隆秀，委員ジグデルプルソタム，委員ジャンエンファン，委員関根千佳，委員藤比呂志，委員中原義隆，委員松浦恭子，委員吉住寛之。以上。

この他にユニバーサル都市・福岡について，次の説明文を記載しています。ユニバーサル都市・福岡とは，ユニバーサルデザインの理念に基づいた，誰もが思いやりを持ち，すべての人にやさしいまちのことであり，福岡市は，みんながやさしい，みんなにやさしいユニバーサル都市・福岡をまちづくりの目標像として掲げ，市政の柱の一つとして推進しています。以上。

この他にユニバーサルデザインについて，次の説明文を記載しています。年齢や性別，国籍，障がいの有無などに関わらず，全ての人が自由・快適に利用でき，行動できるような配慮をあらゆる場面で行っていこうとする考え方です。以上。

この他にユニバーサルデザインの7原則をイラスト入りでご紹介しております。1つ目の公平性は，誰でも公平に利用できることです。2つ目の自由度は，使う上で自由度が高いことです。3つ目の単純性は，使い方が簡単ですぐわかることです。4つ目の分かりやすさは，必要な情報がすぐに理解できることです。5つ目の安全性は，うっかりミスや危険につながらないデザインであることです。6つ目の体への負担の少なさは，無理な姿勢をとることなく，少ない力でも楽に使用できることです。最後の7つ目のスペースの確保は，アクセスしやすいスペースと大きさを確保することです。説明は以上です。